【優秀賞】



氏 名 ROMERO DONNABELLE

DEMAISIP

(ロメロ ドンナベル デマイシップ)

国・地域 フィリピン



在日期間 2年

学 校 九州日本語学校

タイトル : できます!

人生において、何かを言葉で伝えたくても、うまく伝えられない。誰かに助けを求める必要があっても、どのように伝えればいいのか分からない。という経験をしたことはありませんか?自分のすばらしい経験を分かち合いたいけど、間違った文法、単語、発音で笑われるのをおそれて、話さなかったりしたことはありませんか?また、誰かが自分に何かを伝えても理解できていないのに、「はい」といって会話を止めたことはありませんか?

「あなたにできるの?」

こんな質問を自分自身にしたことはありませんか?

私はあります。

この不安定な時期に最も自分を支えてくれるものは、何ですか?

私にとって、それは『できます!』という日本語です。

2019年の9月、私の考えは大きく変わりました。あの日、公園で友達とベンチに座って、日本語を勉強していると、小さな子供たちが私たちのほうへやって来て、遊び始めました。自由に好きなだけ日本語で会話をしている彼らを見て、私は少しうらやましく思いました。少し頭を休めて、空を見上げながら、本当に彼らのように日本語が話せるようになれるのだろうか?と思って、ため息をつきました。その時、突然一人の女の子が私の所に走ってきて、自分が『はな』だと紹介して、

「おねえちゃん、何をしているの?」

と聞いてきました。私は簡単な日本語で

「日本語を勉強しているんだよ。でも、なかなかうまくならないんだ」

と言い、日本語がうまく話せない自分にいらいらしてしまいました。だから、彼女に優しく話をすることができませんでした。なぜ4才の小さな女の子に対してこんな気持ちになったのか分かりません。でも、彼女の次の言葉に私は感動しました。彼女は、

「おねえちゃん、できますよ!」

と言ってくれたのです。

フィリピンにいた時、私は子供たちを専門に教えていて、それに慣れていました。しかし、その時は反対で、私は小さな女の子から、簡単にあきらめてはいけない、望みを持つことが大事だということを思い出させてもらいました。小さな女の子の言葉を聞いた時、神様が私を応援してくれているように、そして、『あなたは、やればできるよ』と信じてくれているように感じました。あの経験をした時から、彼女の『できます!』という言葉は、私の一番のお気に入りの日本語になりました。

漢字を覚える時や、どのように「する」「される」「させる」「させられる」を使うのかを考える時。今のコロナウィルスの影響の中で、自分には「仕事が見つけられるのだろうか?もしかしたら、国に帰らなければならないのではないだろうか」そう考えると、とても不安です。

でも、この『できます!』という言葉を信じて、あきらめないで努力を続けようと思います。

私と同じような経験をしている人たち、話をよく聞いてくれた人たち、難しい状況の中 にいるすべての人に、私のお気に入りの言葉を贈りたいと思います。

『できます!』

ご清聴ありがとうございました。